



地震の後遺症



ここ数年、大きな地震が続いています。

一説によれば、地球が活動期に入ったのではとの意見も耳にします。

この20年を見ても、阪神淡路大震災、中越地震、そして東日本大震災と続きました。

そうそう大きな地震は続かないだろうと思っていたところに、熊本地震が起き、

驚いていたところに鳥取で震度6弱の地震がありました。

地震は起きないだろうと予測されていた沖縄でもありましたし

今や日本じゅう絶対に安全という場所はないのかもしれない。

私たちがさえ怖い地震ですが、犬にとってはどうでしょうか。

犬は地震についての知識は勉強していませんから、立っている地面が揺れること自体があり得ないこととして捉えられ、大きなストレスと恐怖を抱かせます。

同時に犬は耳がとてもよく、私たち人間には聞こえない音も聞くことができます。

地震が起き、地面が揺れる前に地鳴りというか、かすかな地響きが起きています。

犬たちはこの音に関しても非常な恐怖心を感じているのではと思われています。

多くの場合、揺れ出す数秒前にそわそわし始め、耳を立てて警戒し

遠くを見つめていたなどの事例を聞いています。

最近では、携帯電話の緊急避難情報の音が鳴る直前に

愛犬が警戒しはじめたなどの話も耳にします。

実際に揺れを経験し、恐怖心を持った犬は、地震以降も携帯電話の速報の音や道路を通る大型自動車による揺れなどにも恐怖心を持つたりします。

大きな地震を体験し、恐怖を感じた犬たちの多くは、音と震動に敏感になります。

おなかの調子を壊したり、以前に比べるとすぐに吠えるようになる子もいます。

物音に驚くと我を忘れて恐怖のあまり、近くにいる飼い主さんでさえ

噛もうとする子もいますし、中には震えが止まらなくなったりする子もいます。

よく吠えるようになったり、噛もうとする仕草をみた飼い主さんは

困った行為を直そうと、必死に叱ったりすることがありますが、これは逆効果。

地震によって生まれた悪癖は、性格が悪くなったのではなく

一種の精神的な病ですので、叱っても直りません。

もし、愛犬が怖い思いをし、吠えるようになったり、震えが出たりした時に

最善の対処方法は、抱きしめてあげることです。

家庭犬のしつけ方では、極度に甘やかし過ぎるのは良くないとされていますが

震災後の精神的に負担が大きいときには、平常時ではありません。

抱き癖がつこうが、甘えすぎになろうとも、まずは飼い主さんの愛情ある手と胸で

恐怖心から脱出させてあげなければなりません。

愛犬の恐怖心を軽減させるのは、どんな薬よりも

飼い主さんの優しい暖かな愛情だと信じて実行してください。



2021年11月

NPO 法人ワンワンパーティクラブ 三浦 健太 著